

演題：視覚障害者、点訳ボランティアと IT 革命
～ IT 時代の点訳のあり方～

青木 慎太郎

- 1 視覚障害者のパソコン利用 ～厚生労働省の実態調査を参考に～
 - (1) どれくらいの人が利用しているのか？
 - (2) その数字をどう考えるか？
 - (3) 視覚障害者はどうやって情報を得ているか？
- 2 パソコンでできること
 - (1) ワープロやインターネット
 - (2) インターネット上の障害 (画像ファイルなど)
- 3 読書と IT
 - (1) 視覚障害者の読書環境を IT はどう変えたか？
 - ・ スキャナ
 - ・ テキストデータ
 - ・ ピンディスプレイ
 - (2) 点字と IT ～データとして使える点字～
- 4 IT 時代の点訳
 - (1) パソコン点訳のメリット
 - (2) 点訳ネットの試みと新構想の披露

1 視覚障害者のパソコン利用 ～厚生労働省の実態調査を参考に～
 (1) どれくらいの人が利用しているのか？

障害の種類別にみたパソコン利用の状況

(単位：千人)

障害の種類	総数	利用する		利用しない		回答なし
		毎日 利用する	たまに 利用する	ほとんど 利用しない	全く利用 しない	
総数	3,245	144	137	100	2,228	637
	(100.0)	(4.4)	(4.2)	(3.1)	(68.7)	(19.6)
		(8.7)		(71.7)		
視覚障害	301	10	5	4	240	42
	(100.0)	(3.3)	(1.7)	(1.3)	(79.7)	(14.0)
		(5.0)		(81.1)		
聴覚・ 言語障害	346	10	13	10	242	71
	(100.0)	(2.9)	(3.8)	(2.9)	(69.9)	(20.5)
		(6.6)		(72.8)		
肢体 不自由	1,749	86	77	55	1,165	365
	(100.0)	(4.9)	(4.4)	(3.1)	(66.6)	(20.9)
		(9.3)		(69.8)		
内部障害	849	38	42	30	581	159
	(100.0)	(4.5)	(4.9)	(3.5)	(68.4)	(18.7)
		(9.4)		(72.0)		

()内は構成比(%)

出典：厚生労働省の実態調査

http://www.jil.go.jp/kisya/syaengo/20020808_02_sye/20020808_02_sye_hyou09.html

(2) その数字をどう考えるか？

視覚障害者のパソコン利用者は全体の5%であるが、「高齢化などを考えれば、順当な伸びと言ってよい」。

参考までに、年齢別の分布状況に触れておく。

障害の種類別、年齢階級別にみた身体障害者の分布状況

(単位：千人)

	総数	年齢階級別 (歳)								
		18 ~ 19	20 ~ 29	30 ~ 39	40 ~ 49	50 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 ~	不詳
13年6月	3,245	11	70	93	213	468	363	522	1,482	22
	(100.0)	(0.3)	(2.2)	(2.9)	(6.6)	(14.4)	(11.2)	(16.1)	(45.7)	(0.7)
								(61.8)		
8年11月	2,933	8	72	111	242	435	378	408	1,179	99
	(100.0)	(0.3)	(2.5)	(3.8)	(8.3)	(14.8)	(12.9)	(13.9)	(40.2)	(3.4)
								(54.1)		
対前回比 (%)	110.6	137.5	97.2	83.8	88.0	107.6	96.0	127.9	125.7	22.2
13年内訳										
視覚障害	301	-	7	8	16	47	29	37	155	2
	(100.0)	(-)	(2.3)	(2.7)	(5.3)	(15.6)	(9.6)	(12.3)	(51.5)	(0.7)
								(63.8)		
聴覚・ 言語障害	346	1	9	13	22	38	24	40	195	5
	(100.0)	(0.3)	(2.6)	(3.8)	(6.4)	(11.0)	(6.9)	(11.6)	(56.4)	(1.4)
								(67.9)		
肢体 不自由	1,749	8	45	59	130	271	198	290	739	9
	(100.0)	(0.5)	(2.6)	(3.4)	(7.4)	(15.5)	(11.3)	(16.6)	(42.3)	(0.5)
								(58.8)		
内部障害	849	2	9	13	45	113	112	154	394	6
	(100.0)	(0.2)	(1.1)	(1.5)	(5.3)	(13.3)	(13.2)	(18.1)	(46.4)	(0.7)
								(64.5)		
重複障害 (再掲)	175	1	3	6	11	10	20	37	86	1
	(100.0)	(0.6)	(1.7)	(3.4)	(6.3)	(5.7)	(11.4)	(21.1)	(49.1)	(0.6)
								(70.3)		

() 内は構成比 (%)

(3) 視覚障害者はどうやって情報を得ているか？

障害の種類別にみた情報の入手方法の状況（複数回答）

（単位：千人）

情報の入手方法	総数	障害種類別			
		視覚障害	聴覚・ 言語障害	肢体 不自由	内部障害
総数	3,245	301	346	1,749	849
	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
一般図書・ 新聞・雑誌	1,936	78	233	1,053	572
	(59.7)	(25.9)	(67.3)	(60.2)	(67.4)
録音・点字図書	25	22	-	1	2
	(0.8)	(7.3)	-	(0.1)	(0.2)
ホームページ・ 電子メール	114	6	11	70	27
	(3.5)	(2.0)	(3.2)	(4.0)	(3.2)
携帯電話	150	11	21	83	34
	(4.6)	(3.7)	(6.1)	(4.7)	(4.0)
ファックス	111	3	42	45	22
	(3.4)	(1.0)	(12.1)	(2.6)	(2.6)
テレビ (一般放送)	2,632	218	261	1,438	715
	(81.1)	(72.4)	(75.4)	(82.2)	(84.2)
手話放送・ 字幕放送	57	-	50	4	3
	(1.8)	-	(14.5)	(0.2)	(0.4)
ラジオ	1,014	167	40	532	275
	(31.2)	(55.5)	(11.6)	(30.4)	(32.4)
自治体広報	943	47	91	531	274
	(29.1)	(15.6)	(26.3)	(30.4)	(32.3)
家族・友人	1,708	176	190	916	427
	(52.6)	(58.5)	(54.9)	(52.4)	(50.3)
その他	135	6	19	70	39
	(4.2)	(2.0)	(5.5)	(4.0)	(4.6)

（ ）内は構成比（％）

点字修得及び点字必要性の状況

(単位：千人)

障害の程度	総数	点字が できる	点字ができない				回答なし
			小計	点字必要	点字必要 なし	回答なし	
総数	301	32	229	17	201	11	40
	(100.0)	(10.6)	(76.1)	(5.6)	(66.8)	(3.7)	(13.3)